



東北大学



平成 25 年 10 月 16 日

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構  
地域支援石巻センター移転・新装内覧会  
—最新の検査機器による健康調査を開始—

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構は、健康調査の拠点とするため、地域支援石巻センターを移転・拡充し、検査機器を充実させました。平成 25 年 10 月 16 日（水）、石巻市長をはじめ地域の関係者を招いた内覧会を開催します。

地域支援石巻センターでは、亀山紘 石巻市長はじめ地域の関係者をお招きして内覧会を行います。当センターには『地域住民コホート調査』で行う詳細な健康調査のための検査機器を設置しており、内覧会では一部の検査機器を実際にお試しいただけます。『地域住民コホート調査』は宮城県と岩手県で 8 万人の参加を目指す健康調査事業で、2013 年 10 月現在で 8 千人以上のご参加をいただきました。

当センターでは 10 月 28 日から健康調査を開始します。10 月 8 日より宮城県に住民票を置く 20 歳以上の方を対象に参加者を募集し、先行予約を受け付けています。調査開始後は、当センターで本事業・調査について GMRC（ゲノム・メディカルリサーチコーディネーター）がご説明を行い、同意を頂いた方々へ、採血や各種生理検査および調査票への記入協力依頼等を行います。

当センターは石巻市・東松島市・女川町並びに近隣住民の皆様の健康支援・健康調査活動の拠点です。具体的には、1) 医療者の確保・育成、地域医療の再建、2) 保健医療サービスの普及、3) 健康調査・健康に関する支援、4) 健康に関する最先端の研究と次世代医療の実現を行っていきます。

当機構は、東日本大震災からの医療復興と次世代型医療の基盤構築のため昨年 2 月 1 日に設立され、成人や妊婦など幅広い年齢層を対象とした前向き健康調査（コホート研究）、循環型医師支援システムの確立、複合バイオバンクの構築等の事業を行います。また宮城県各地の地域支援センターは、各地域でのこれらの活動の拠点となり、住民の方々の健康増進を支援し、医療復興に貢献することを目指して活動に取り組んでいきます。（昨年 12 月に石巻市と気仙沼市、今年 2 月に岩沼、5 月に多賀城、7 月に白石にセンターを開所して

います。)

各地域支援センターでは、機構の医師、臨床心理士、保健師、歯科医師、看護師、ゲノム・メディカルリサーチコーディネーター等の地域活動の拠点となり、健康診査の結果回付や結果に基づくご面談などを実施できるようにすることを計画しています。

【参考】

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

<http://www.megabank.tohoku.ac.jp/>

(お問い合わせ先)

(報道担当)

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

長神 風二 (ながみ ふうじ)

影山麻衣子 (かげやま まいこ)

電話番号： 022-717-7908

ファックス： 022-717-7923

Eメール： f-nagami@med.tohoku.ac.jp